

公園内で見られる 植物

写真は10月22日（土）
自然観察会で見られた
植物です



コウヤボウキ（コウヤボウキ属）

花／9～10月、本年枝の先に直径1センチほどの頭花を1個ずつつける。
別名／高野山で、枝をほうきの材料にしたからついた。



センブリ (センブリ属)

日当たりのよい草地に生える2年草。全草に苦みがある。花期／9月～11月
* センブリは全草に強い苦みがあり、苦味健胃薬としてよく知られてる。



アキノキリンソウ (アキノキリンソウ属)

日当たりのよい山野に生える多年草。花期／8～11月。別名／アワダチソウ



オケラ (オケラ属)

若芽は食用になる。地下茎は芳香があり、健胃剤に用いるほか、正月の屠蘇にも使われる。
花期／9～10月。



ヤマウルシ (ウルシ属)

葉／互生。長さ20～40^{センチ}の奇数羽状複葉で、小葉は4～8対。表面は毛が散生し、裏面脈上には軟毛が密生する。



アキチョウジ (ヤマハツカ属)

山地の半日陰に生える多年草。和名は秋に丁字形の花をつけることによる。花期／9～10月



クサギ (クサギ属)

果実／核果。直径6～7ミリの球形。10～11月に熟すと光沢のある藍色になる。



キクバヤマボクチ (ヤマボクチ属)

頭花は直径 3.5 ㌢ほどでふつう淡紫色。まれに淡黄色。総苞は球状鐘形で長さ 2.6 ㌢ほど、まばらにクモ毛があり、総苞片は多列で、先はほとんど刺状。



コマユミ (ニシキギ属)

果実／蒴果。1～2個の分果に分かれる。分果は長さ5～8㌢の楕円形。10～11月に熟す。熟すと裂開し、橙赤色の仮種皮に包まれた種子が顔をだす。



イヌタデ (タテ属)

別名/アカマンマ。葉に辛みがなく、役に立たないという意味からつけられたもの。小さい赤い花を赤飯に見立てて、アカマンマと呼び、子供がままごとにする。道ばたや畑、荒地などにごくふうにはえてる高さ20~50センチの1年草。花期/6~10月



イヌホオズキ (ナス属)

別名/バカナス。ホオズキやナスに似ているが役に立たないことによる。畑や道ばたに生える高さ30~60センチの1年草。花期/8~10月。